

5. TDM施策の実施状況について

①ゴールデンウィークの対策実施について

(1) 対策実施概要

- ・H24年度から、観光シーズンにおけるTDMを継続実施している。
- ・R8年度は、以下の6項目の施策を実施した。

■ TDM実施状況

年度	内容
平成24年度	海洋博公園花火大会（7月）
平成25年度	海洋博公園花火大会（7月）
平成26年度	海洋博公園花火大会（7月）
平成27年度	大型連休時（シルバーウィーク）（9月）
平成28年度	大型連休時（ゴールデンウィーク）（5月）
平成29年度	大型連休時（ゴールデンウィーク）（5月） 海洋博公園花火大会（7月）
平成30年度	大型連休時（ゴールデンウィーク）（5月）
平成31年度	大型連休時（ゴールデンウィーク）（5月）
令和6年度	大型連休時（ゴールデンウィーク）（5月）
令和7年度	大型連休時（ゴールデンウィーク）（5月）
令和8年度	大型連休時（ゴールデンウィーク）（5月）

■ R8年度の実施内容

施策	目的	時期
①横断幕の設置	経路分散	設置期間： 5月2日(土)～ 5月6日(水)
②案内看板の設置		
③信号現示調整	GWの交通に合わせた調整	5月2日(土)～5月6日(水)
④ラジオによる情報提供	時間分散	ラジオ（3社）放送期間： 5月2日(土)～ 5月6日(水)
⑤新聞による情報提供	時間分散・経路分散	4月29日(水)にテレビ広告欄に掲載（新聞（2社））
⑥道路情報誌（アシナビー）による情報提供	時間分散・経路分散	大型連休前に設置

①ゴールデンウィークの対策実施について

(1)対策実施概要

1)迂回ルート及び横断幕・案内看板設置箇所及び設置状況



▲迂回ルート及び横断幕・案内看板設置箇所

①横断幕

北部地域には**宜野座IC**からも行けます。



▲設置した横断幕

②案内看板



▲設置した案内看板

①ゴールデンウィークの対策実施について

(1)対策実施概要

2) 信号現示調整

③信号現示調整

渋滞する方向の青現示を伸ばすことで、渋滞緩和を図る。

北部方面向けの信号現示の調整内容

No.	交差点名	渋滞方向	信号現示調整 時間帯	信号現示調整内容 (青時間の変更)
1	世富慶	国道58号：至 許田 国道329号：至 世富慶IC	10：00～15：00	1φ：109秒⇒118秒 (+9秒) 2φ：17秒⇒6秒 (-11秒) 3φ：19秒⇒18秒 (-1秒) 4φ：5秒⇒8秒 (+3秒)
2	世富慶IC	国道329号：至 二見	10：00～14：00	1φ：33秒⇒48秒 (+15秒) 2φ：5秒⇒15秒 (+10秒) 3φ：40秒⇒15秒 (-25秒)
3	松田(北)	国道329号：至 宜野座	10：00～14：00	1φ：58秒⇒63秒 (+5秒) 2φ：20秒⇒15秒 (-5秒)

中南部方面向けの信号現示の調整内容

No.	交差点名	渋滞方向	信号現示調整 時間帯	信号現示調整内容 (青時間の変更)
1	許田	国道58号：至 世富慶	15：00～24：00	1φ：71秒⇒82秒 (+11秒) 2φ：26秒⇒15秒 (-11秒)
2	伊差川IC	国道58号：至 白銀橋(東)	14：00～24：00	1φ：50秒⇒47秒 (-3秒) 2φ：14秒⇒21秒 (+7秒) 3φ：31秒⇒28秒 (-3秒)

①ゴールデンウィークの対策実施について

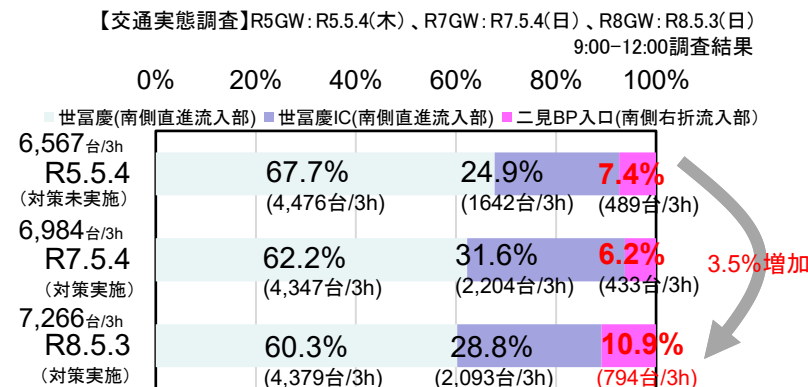
(1)対策実施概要

- ・各施策について、施策のねらいを踏まえた効果検証を実施した。
- ・効果検証結果は、次ページ以降に示す。

項目	施策	ねらい (想定効果)	内容	分析概要
1	・ 横断幕 ・ 案内看板 ・ 新聞・ラジオ ・ 道路情報誌（アシナビー）	経路転換 時間分散	交通量調査による経路分散効果	GW期間中にTDM実施をしていない年度とTDMを実施した（R7・R8）の経路別の交通量の割合を比較
			アシナビーの配布枚数	GW期間中での配布枚数を施設別に集計
			WEBアンケートによる認知度確認と実施率の確認	GWに北部地域を来訪した方を対象に広報認知率、実施率等を聞き取り
2	・ 信号現示	交差点の渋滞緩和	渋滞長の変化	TDM実施をしていない年度とTDMを実施した（昨年度・今年度）の渋滞長を比較

(2) 実施結果:「経路分散」効果の検証(①北部方面向け)

- ・R8年度では迂回ルートへの交通転換効果が確認された（迂回ルートの利用率が増加）。
- ・名護東道路の利用率は令和5年から増加傾向にあり、世富慶交差点等の渋滞箇所利用率は低下している。
- ・アンケートによる分析で時間や経路転換に必要な条件を確認し、さらなる効果発現に向けた施策の改善を検討する。



▲交通量割合の変化(断面1北向け交通)

※北部方向の経路分散対策はR6から実施

①ゴールデンウィークの対策実施について

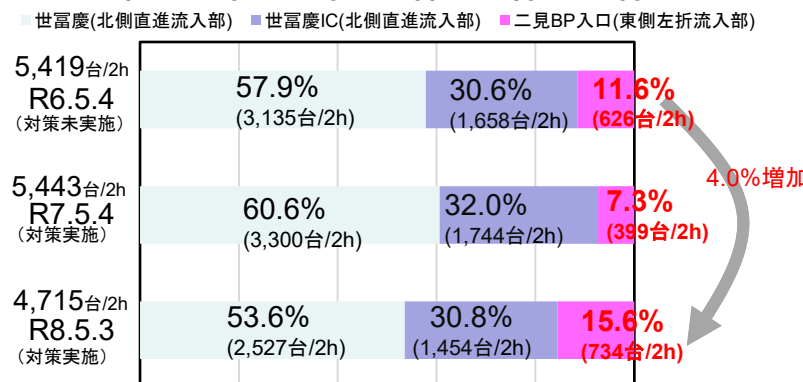
(2) 実施結果:「経路分散」効果の検証(②中南部方面向け)

- ・R8年度では迂回ルートへの交通転換効果が確認された（迂回ルートの利用率が増加）。
- ・名護東道路の利用率は令和6年から増加傾向にあり、世富慶交差点等の渋滞箇所の利用率は低下傾向にある。
- ・アンケートによる分析で時間や経路転換に必要な条件を確認し、さらなる効果発現に向けた施策の改善を検討する。



【交通実態調査】R6GW: R6.5.4(土)、R7GW: R7.5.4(日)、R8GW: R8.5.3(日)

16:00-18:00調査結果



▲交通量割合の変化(断面1南向け交通)

※中南部方向の経路分散対策はR7から実施

①ゴールデンウィークの対策実施について

(2) 実施結果：「時間分散」効果の検証(①北部方面向け)

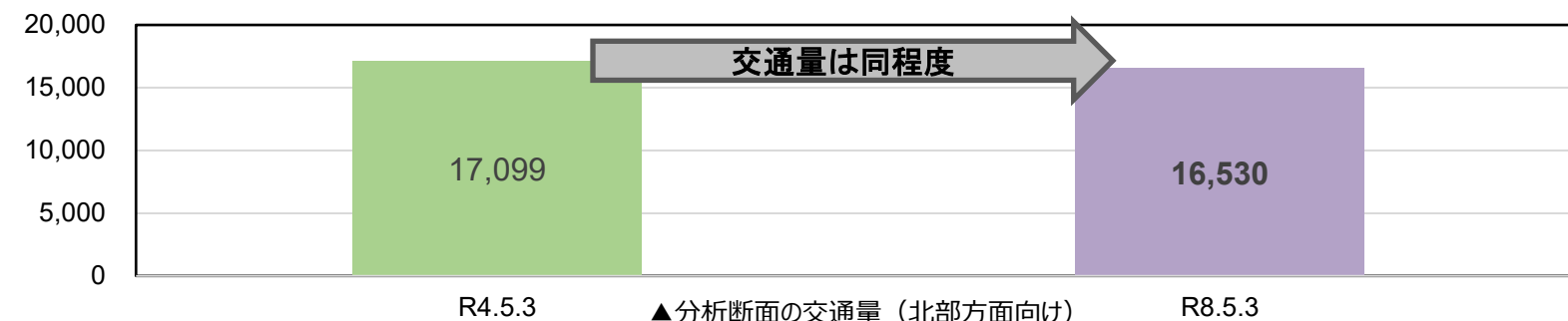
・渋滞のピーク時間帯となる9時～12時台から、前後の時間帯に交通需要が分散していることから、時間分散効果を確認した。

▼「時間分散」内容（北部方面向け）

広報媒体	R4	R7	R8
ラジオ		○	○
チラシ		○	○
HP		○	○
新聞広告		○	○

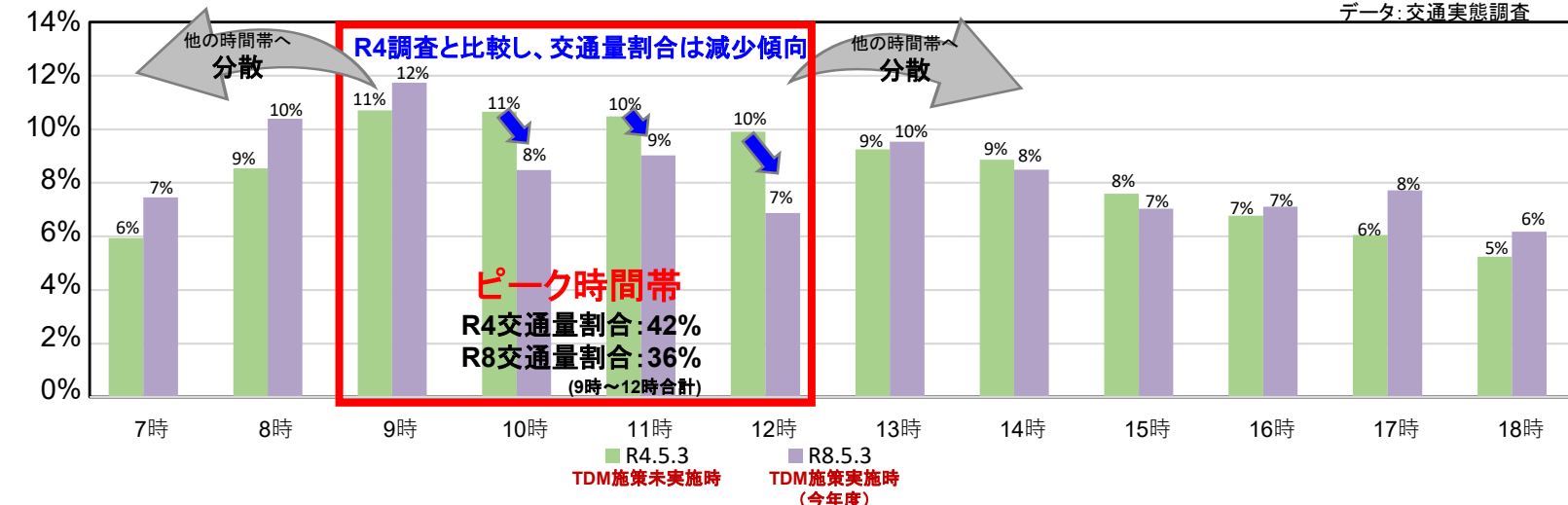
台/12h

データ：交通実態調査

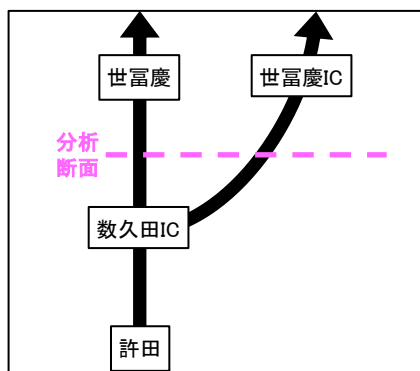


%

データ：交通実態調査



▲分析断面の時間帯別交通量割合（北部方面向け）



▲分析断面(国道58号、名護東道路)

①ゴールデンウィークの対策実施について

(2) 実施結果：「時間分散」効果の検証(②中南部方面向け)

・渋滞のピーク時間帯となる16時～18時台から、早い時間帯に交通需要が分散していることから、時間分散効果を確認した。

▼「時間分散」内容（中南部方面向け）

台/12h

広報媒体	R6	R7	R8
ラジオ		○	○
チラシ		○	○
HP		○	○
新聞広告		○	○

台/12h

30,000

25,000

20,000

15,000

10,000

5,000

0

%

14%

12%

10%

8%

6%

4%

2%

0%

7時

8時

9時

10時

11時

12時

13時

14時

15時

16時

17時

18時

R6.5.4

R8.5.3

TDM施策未実施時

TDM施策実施時

(今年度)

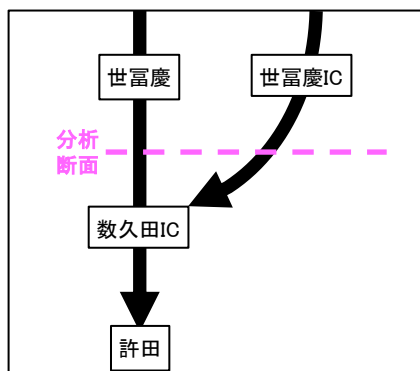
▲分析断面の時間帯別交通量割合（中南部方面向け）



▲分析断面の交通量（中南部方面向け）

R8.5.3

データ：交通実態調査



▲分析断面（国道58号、名護東道路）

%

14%

12%

10%

8%

6%

4%

2%

0%

7時

8時

9時

10時

11時

12時

13時

14時

15時

16時

17時

18時

R6.5.4

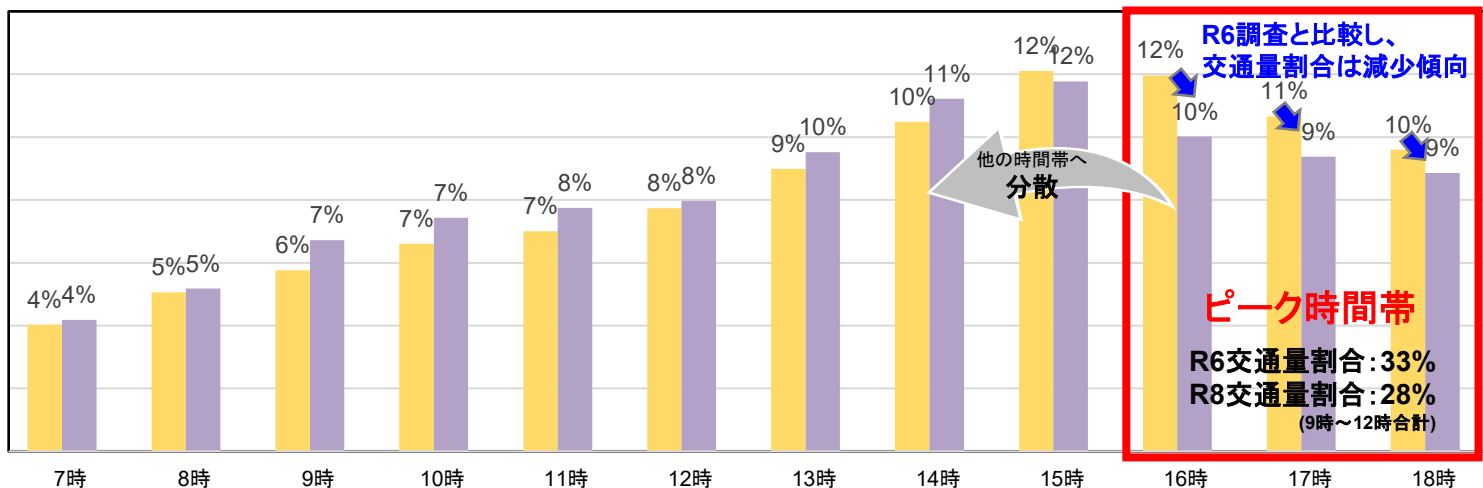
R8.5.3

TDM施策未実施時

TDM施策実施時

(今年度)

▲分析断面の時間帯別交通量割合（中南部方面向け）



データ：交通実態調査

R6調査と比較し、
交通量割合は減少傾向

ピーク時間帯

R6交通量割合：33%
R8交通量割合：28%
(9時～12時合計)R6.5.4
TDM施策未実施時R8.5.3
TDM施策実施時
(今年度)

▲分析断面の時間帯別交通量割合（中南部方面向け）

①ゴールデンウィークの対策実施について

(3) 実施結果：渋滞長の削減効果

・信号現示調整前と比較し、渋滞長が減少していることを確認した。

データ：交通実態調査



交差点名	渋滞方向	信号現示調整時間帯	最大渋滞長(m) (07:00~19:00)		信号現示調整効果 (最大渋滞長増減)
			※調整前	調整後 (R8.5.3)	
伊差川IC	B方向 (国道58号)	14:00~20:00	540 (16時台)	100 (15時台)	緩和 (約8割減)
	C方向 (国道329号)	9:00~14:00	550 (11時台)	220 (11時台)	緩和 (約6割減)
世富慶	B方向 (国道58号)	9:00~14:00	2,300 (13時台)	1,920 (11時台)	緩和 (約2割減)
松田(北)	B方向 国道329号: 至 宜野座	10:00~14:00	4,200 (12時台)	3,380 (12時台)	緩和 (約2割減)

※伊差川IC : R6.5.4との比較
世富慶 : R4.5.4との比較
松田(北) : R4.5.4との比較

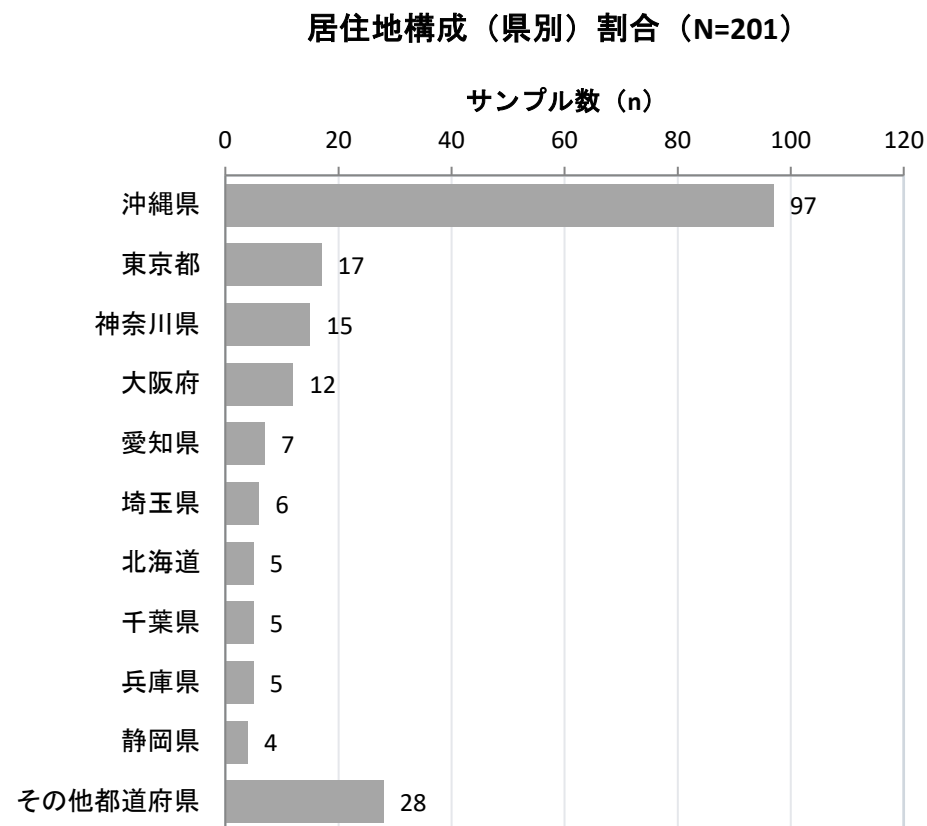
(3) 実施結果：WEBアンケート

- ・GW のTDM施策の効果検証及び更なる効果向上のための検討のためのWEBアンケート調査を実施した。
- ・アンケートは、R8年度のGWに沖縄北部地域に来訪した約200名を対象に実施した。

■ アンケート概要

対象	R8年のGWに北部国道管内に来訪した方
手法	WEBアンケートモニターを利用した調査
期間	6月下旬
サンプル数	ゴールデンウィークに北部国道管内に来訪したと回答した方：201人
アンケートの概要	① TDM施策の認知度（渋滞情報を知っている方の割合） ② TDM施策の実施率（行動変容の実施割合） ③ 行動変容の実施条件や改善アイディア（今後の改善策の検討材料の収集）

■ 回答者の属性



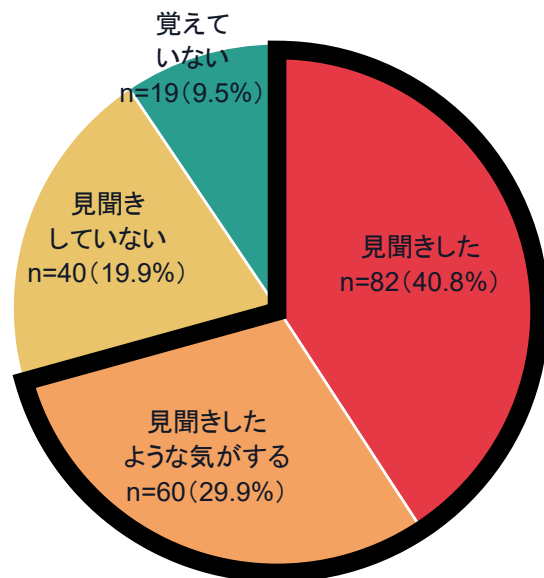
(3) 実施結果：WEBアンケート

- ・GW期間中に北部地域に来訪した回答者のうち、**約7割が渋滞情報を認知**していた。
- ・GW期間中に実施した施策では、**ラジオ、案内看板が約半数が認知**。**アシナビー(道路情報誌)、横断幕も一定数の認知を確認**。

■ TDM施策の認知度

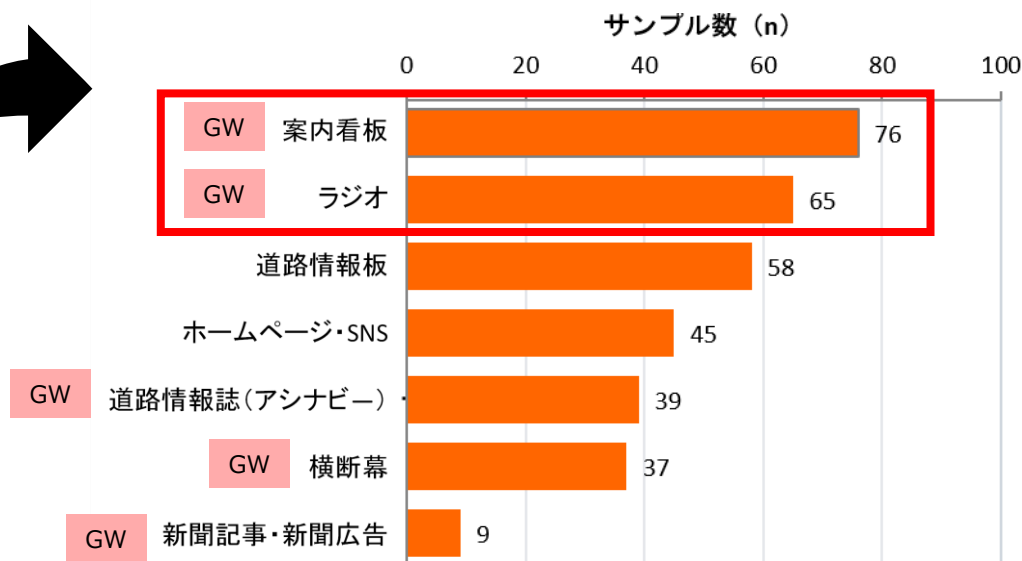
Q. 渋滞回避情報の認知状況(N=201)

- ・「見聞きした」「見聞きしたような気がする」を合わせると約7割



Q. 見聞きした情報源ランキング(N=142・複数回答)

- ・GW期間中に実施した施策では、案内看板、ラジオで約半数が認知。
- ・アシナビー(道路情報誌)、横断幕も一定数の認知を確認



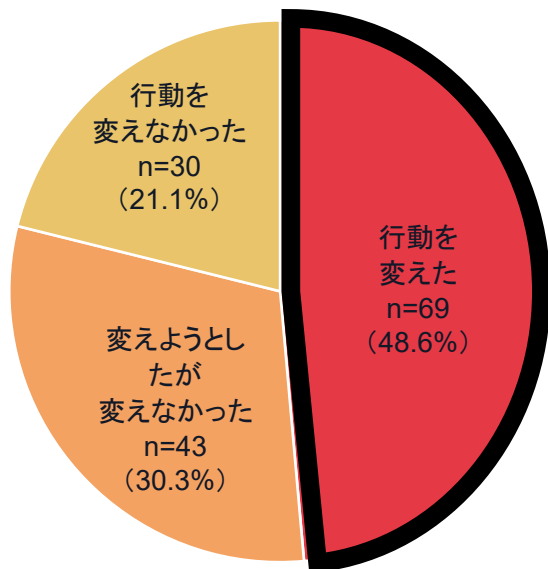
(3) 実施結果：WEBアンケート

- ・渋滞回避情報を認知した人のうち、**48.6%が経路や時間帯等の行動を変更した**。
- ・具体的変更内容は、「出発時刻を早めた」、「ルート変更」が上位であり、移動の時間帯・経路に関する変更が多い。
- ・**これらの結果からTDM施策に一定の効果があったと確認できた**。

■ TDM施策の実施率

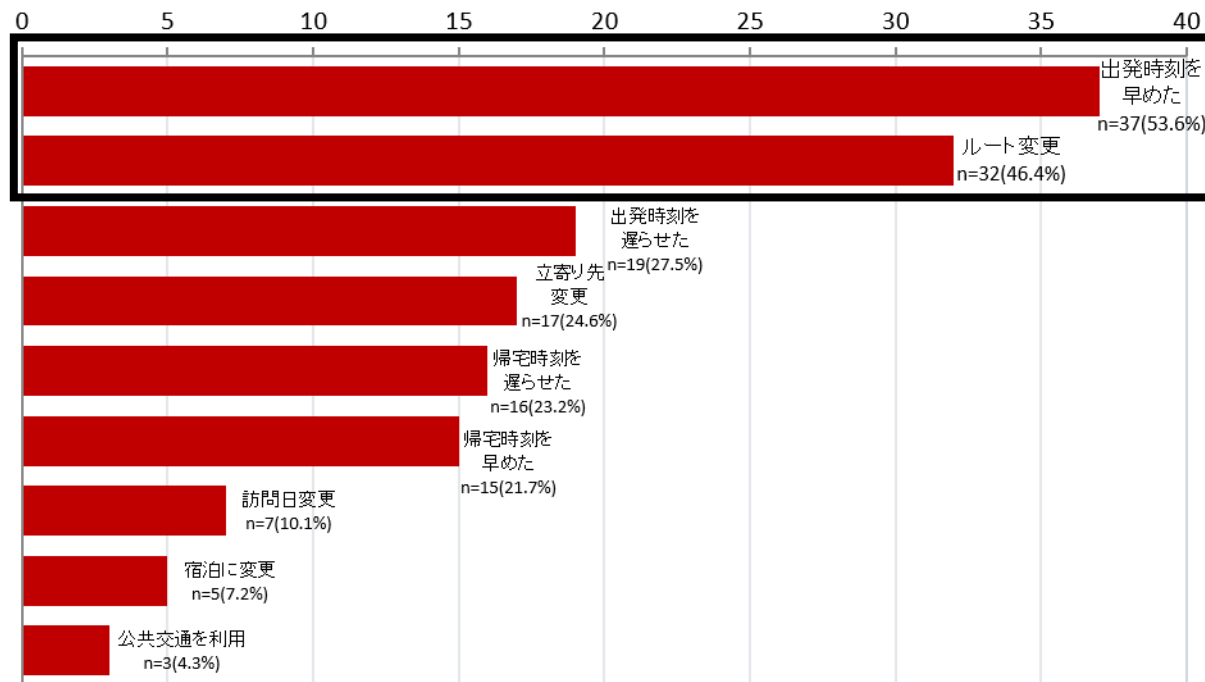
Q. 情報認知による行動変更状況(N=142)

- ・渋滞回避情報を認知した人のうち、「行動を変えた」は48.6%であった。



Q. 具体的に変えた行動(N=69・複数回答)

- ・具体的に変えた行動は、「出発時刻を早めた」が53.6%で最も多く、
- ・次いで「ルート変更」が46.4%であった。



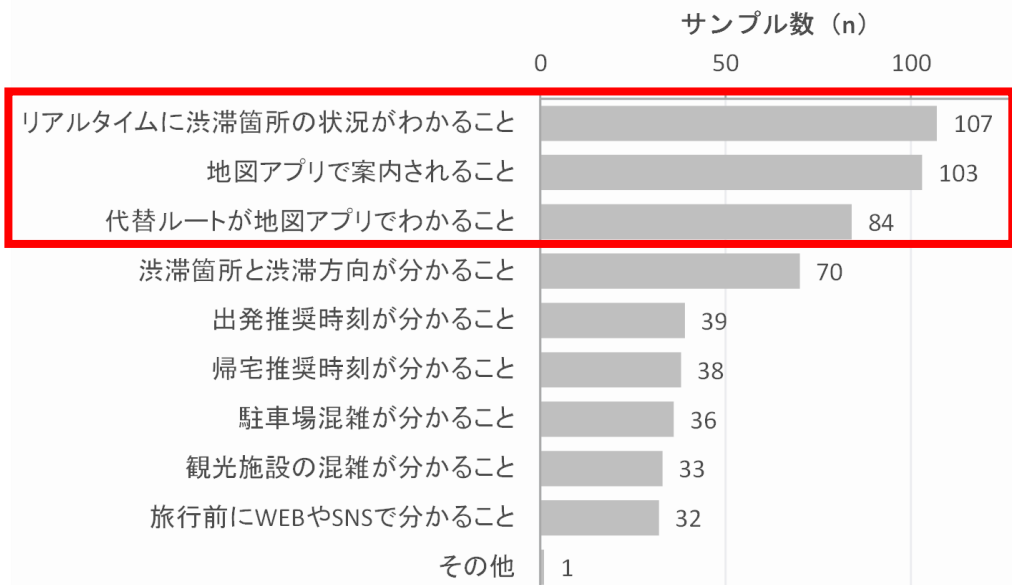
(3) 実施結果：WEBアンケート

- ・経路・時間帯変更の条件として、**リアルタイム渋滞情報、地図アプリでの案内、代替ルート提示**を求める回答が多い。
- ・時間短縮効果は、「30分程度から変更する」回答が最多であり、**30分程度の所要時間改善が見込める推奨時間帯や代替ルートの案内が、行動変容を更に促す要素となる**ことが考えられる。
- ・これらの結果を踏まえ、**来年度以降のTDMの改善方針を検討**していく。

■経路・時間帯変更のための条件 (必要な情報や案内)

Q14. 経路・時間帯変更に必要な条件(N=201・複数回答)

- ・経路・時間帯変更に必要な条件は、リアルタイム渋滞情報が107件で最多。次いで、地図アプリでの案内103件、代替ルート提示84件が多い。



■経路・時間帯変更のための条件 (短縮時間と行動変容（ルート、時間帯変更等）意向)

Q15. 時間短縮が見込めた場合の行動変更意向(N=201)

- ・時間短縮が見込める場合、30分程度から変更するが100件、49.8%で最多。
- ・一定の所要時間短縮を示すことで、行動変更につながる可能性がある。

